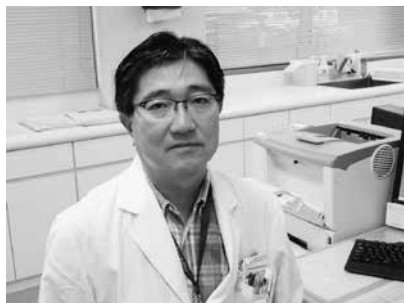




当院の常勤医師は、内科2人、外科2人の計4人です。当院は公立病院であり医師確保が難しく、10年以上ほぼ常勤医師4人で頑張っています。

小児科(平日)、整形外科(木、金)、脳外科(金)は、午前中に非常勤医師が担当しています。



検 査

病院内には健康管理センターが併設されており、事業所健診、人間ドックなどの診察および結果説明をしています。

●午前の検査

毎日腹部エコー、甲状腺エコー、乳腺エコー、胃内視鏡、S状結腸内視鏡を3人の検査医で交代で行っています。

●午後の検査

水曜日を中心に数件全大腸内視鏡検査をしています。患者さんの希望で月、木、金も検査しています。全大腸内視鏡検査は検診で便潜血陽性の患者さん、便に血液が混じる人、大腸ポリープ切除後フォローでしています。ピロリ菌除菌、胃内視鏡をする患者さんが増え胃癌は減少傾向ですが、食事の西洋化のため大腸癌は右肩上がりに増加しています。大腸癌にならないために、50歳を過ぎたら一度全大腸内視鏡検査を受けてください。

毎週水曜日、心エコー検査ができるようになりました。最近労作後息切れがしたり、胸痛が気になる人は内科を受診し、一度心エコーを受けることをお勧めします。

最後に、当院は救急告示病院であり、軽症から中等症の急性期疾患の治療をほどこしており、診察精査後、手術やカテーテル治療が必要な重症患者さんを速やかに適切な急性期病院へ紹介しています。その後、急性期病院で治療を受け回復期に入った患者さんを受け入れ、入院治療、リハビリ継続を行っています。

和水町立病院 診療部長 岩永祐治

午前の外来

●内 科

生活習慣病である高血圧、糖尿病を中心に貧血、感冒などを診察しています。

●外 科

9年ほど前に医師不足のため手術室を閉鎖したので、外来でできる局所麻酔の手術(簡単な外傷処置、粉瘤切除、脂肪腫切除、陥入爪手術など)をしています。

手術以外では消化器疾患(腹痛、下痢、吐下血、胸やけなどを起こす病気)、急性胃炎、胃十二指腸潰瘍、胆石、膵炎、急性腸炎、潰瘍性大腸炎、逆流性食道炎、内痔核などを診ています。

また、消化器癌(食道、胃、大腸、膵癌など)、甲状腺疾患、乳がんも診ていて精密検査して手術が必要ならば、手術ができる近くの総合病院へ紹介しています。

●急 患

急性蕁麻疹、ムカデ咬創、蜂刺傷、マムシ咬創などを診ます。

全てアナフィラキシーショックを起こすことがあるので、できるだけ早く病院へ連れて来てください。

午後の外来

基本的には総合診療医として常勤1人で診察しています。

他の医師は、訪問診療に行ったり、検診診察、検査、局麻手術をしています。

【I-3区】
 前回報告の補填です。平場には、縁下に帯状削平地(a-c)が、高さ0・6m、1・27mの段差で、三方から取り囲んでいます。bの真下には、J区があります。

【J区】
 I-3区の西下に位置しており、崖面中の大造成地です。上段のbと3・5m、下位のK区東端部と4・8mの高低差があります。長さ22m、幅3・7m、上面は整地されています。上下の崖面は、急峻に削り落された上に、整形されており、台形に見えます。この形状は、堀切5の東壁に似ている所から、同時期の造成と思われる。崖面の北端からは、平時に使用されたと思える小道が上がっています。しかし、

区	長さ	幅	高低差	上段
a	15.5	4～5.3	0.6	I-3区
b	11	1～2.6	1.27	I-3区
c	18	4～5.7	1.0	I-3区
d	12	最大4.5	2.38	J区
e	5.5	1.4～2.5	2.39	d
f	4.5	1.7～3	4.08	J区
g	4	最大3.3	0.52	f
h	9.2	3.5～4.5	4.23	J区
i	17	4	2.10	K区
j	5	4	3.87	K区
k	6	3.5	2.87	K-2区

削平地・小段 計測表 (単位:m)

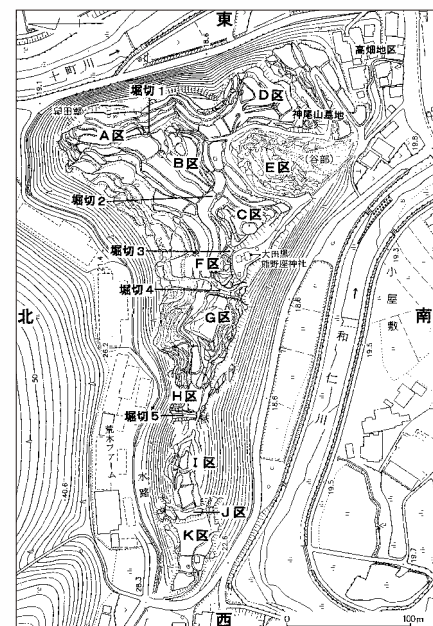


図2 神尾城跡全体縄張り図

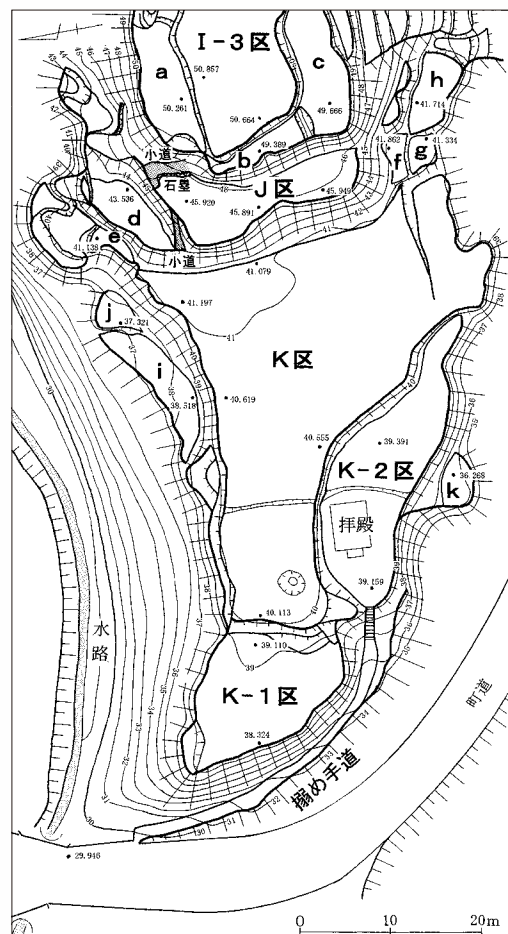


図1 J区・K区 測量図

調
 査は、縄張りの西端部に達しました。地形の変化点と段下りの尾根筋には、大規模な造成工事が行われていました。

I区の西側斜面では、大崖面を削り出して、中段に段状の削平地(J区)が造成されていました。その裾部には、城内で最大面積の平地(K区)も整地されており、神尾城の重要拠点であった事が分かります。

所々で崩落しており、最下部に、岩礫積み上げの石塁が目立つ程度です。J区の北側と南側の斜面には、足掛りの小段(d-h)が付いています。

三角形の広い平場です。東西の長さ40・5m、幅は、東端で35m、西端で10m。削平の度合が非常に高く、標高は、東端中央部が41m、西端部が40mで、ほぼ同じです。ここには建物の存在が考えられます。

歴史調査の楽しみ方

神尾城跡

14

大田 幸博
 (元菊水町史編集委員会副委員長)